

第 1 回 幕別町議会臨時会

議 事 日 程

平成19年第 1 回 幕別町議会臨時会

(平成19年 2 月 6 日 10時00分 開会・開議)

開会・開議宣告 (会議規則第 8 条, 第11条)

議事日程の報告 (会議規則第21条)

日程第 1 会議録署名議員の指名

3 前川敏春 4 牧野茂敏 5 草野奉常

日程第 2 会期の決定 2 月 6 日 (1 日間)

(諸般の報告)

日程第 3 行政報告

日程第 4 議案第 1 号 平成18年度幕別町一般会計補正予算 (第 4 号)

会 議 録

平成19年第1回幕別町議会臨時会

- 1 開催年月日 平成19年2月6日
- 2 招集の場所 幕別町役場5階議事堂
- 3 開会・開議 2月6日 10時00分宣告
- 4 応集議員 全議員
- 5 出席議員 (29名)
議長 本保証喜
副議長 額額太郎
1 前川雅志 2 芳滝 仁 3 前川敏春 4 牧野茂敏 5 草野奉常
6 岡田和志 7 中村弘子 8 大坂雄一 9 中橋友子
11 中野敏勝 12 伊東昭雄 13 助川順一 14 杉山晴夫 15 齊藤順教
16 堀川貴庸 17 乾 邦広 18 小田良一 19 増田武夫 20 野原恵子
21 永井繁樹 22 千葉幹雄 23 坂本 偉 24 古川 稔 25 佐々木芳男
26 南山弘美 27 杉坂達男 28 大野和政
- 6 地方自治法第121条の規定による説明員
町 長 岡田和夫 助 役 西尾 治 助 役 遠藤清一 収入役 金子隆司
教育長 高橋平明 教育委員長 林 郁男 総務部長 菅 好弘 企画室長 佐藤昌親
民生部長 新屋敷清志 経済部長 藤内和三 建設部長 高橋政雄
教育部長 水谷幸雄 札内支所長 本保 武 忠類総合支所長 川島広美
総務課長 川瀬俊彦 糠内出張所長 中川輝彦 企画室参事 羽磨知成
地域振興課長 姉崎二三男 幕別消防署長 佐藤 勇
- 7 職務のため出席した議会事務局職員
局長 堂前芳昭 課長 横山義嗣 係長 國安弘昭
- 8 議事日程
議長は議事日程を別紙のとおり報告した。
- 9 会議録署名議員の指名
議長は会議録署名議員に次の3名を指名した。
3 前川敏春 4 牧野茂敏 5 草野奉常

議事の経過

(平成 19 年 2 月 6 日 10:00 開会・開議)

[開会・開議宣言]

○議長（本保証喜） ただ今から、平成 19 年第 1 回幕別町議会臨時会を開会いたします。
これより本日の会議を開きます。

[議事日程の報告]

○議長（本保証喜） 本日の議事日程につきましては、お手元に配付のとおりであります。

[会議録署名議員の指名]

○議長（本保証喜） 日程第 1、会議録署名議員の指名を行います。
本日の会議録署名議員に、3 番前川敏春議員、4 番牧野議員、5 番草野議員を指名いたします。

[会期の決定]

○議長（本保証喜） 日程第 2、会期の決定を議題といたします。
お諮りいたします。
本臨時会の会期は、本日 1 日間といたしたいと思えます。
これにご異議ありませんか。

(なしの声あり)

○議長（本保証喜） 異議なしと認めます。
したがって、会期は本日 1 日限りと決定いたしました。

[諸般の報告]

○議長（本保証喜） ご報告を申し上げます。
同僚であります豊島善江議員におかれましては、去る 12 月 27 日午前 10 時 36 分逝去されました。
誠に哀悼・痛惜の至りにたえません。謹んでご報告申し上げますとともに、再びこの議場で相まみえることのできない豊島議員の冥福を祈り、黙祷を捧げたいと思えます。

[黙祷]

○事務局長（堂前芳昭） ご起立願います。
黙祷。
(黙祷)
○事務局長（堂前芳昭） 黙祷を終わります。
ご着席ください。

[追悼演説]

○議長（本保証喜） この際、弔意を表すため、額額太郎議員より発言を求められておりますので、これを許します。
額額太郎議員。
○副議長（額額太郎） ただいま議長からご報告のありましたとおり、幕別町議会豊島善江議員は、去る 12 月 27 日逝去されました。
豊島議員は、昨年の 6 月ごろより体調を崩され、平成 18 年第 2 回定例会閉会後に入院、手術を受け

られました。

その後、治療をされながらも、9月の第3回定例会に出席され一般質問に立たれました。

私どもは、1日も早く回復されることを願っておりましたが、ご家族の願いも届かず帰らぬ人となりました。

くしくも今日は、幕別町と旧忠類村が合併し、丸1年を迎えた節目の日でもあります。

今、豊島議員が着席するはずの10番議席を見ますと、空席となっております。豊島議員の姿を見ることも、また、声を聞くことも今はもう叶いません。

豊島議員は、常に弱者の立場に立った政策と未来を担う子供たちの教育や子育てに対する支援について、母親として、また、教職者としての経験をもとに誠心誠意取り組んでこられました。

私は、ここに議長のお許しをいただき、皆様の賛同を得て、議員一同を代表し、謹んで哀悼の言葉を申し述べさせていただきます。

豊島善江議員は昭和27年10月10日、小沼正三様、節子様の三女として岩見沢市でお生まれになりました。北海道教育大学岩見沢校をご卒業後、教職員の道をお選びになり、初めての赴任地は名寄市でありました。名寄南小学校に3年間勤務された後、池田小学校に8年間勤務いたし、退職されるまでの11年間、教職者として子供たちの健全育成に意を注がれたのであります。

その間、ご家族にありましては、昭和53年、豊島晃司様とご結婚され、一男一女のお子様に恵まれました。お子様が立派に成長されておられる姿を拝見しましたとき、豊島議員のご家庭での訓育の賜物と深く敬意を表するものであります。

昭和60年に幕別町に居を移されてからは、自らの子育てに多忙な日々の中で、親子劇場などの文化活動や平和活動などに積極的に取り組まれるなど、大変活動的なお母さんでもありました。真面目で責任感が強く、慈愛の心にあふれたお人柄は、広く町民の信望を集められ、平成3年4月に執行された幕別町議会議員選挙に立候補され、見事に当選を果たされたのであります。

豊島議員の誠実なお人柄は、同僚議員からの信頼も厚く、優れた見識と熱意をもって、初当選以来連続して4期16年にわたり町議会議員としてご活躍されました。しかし、その陰には、ご主人やお子さまの協力と支えがあったからこそと私は思います。

平成9年には、予算審査特別委員会委員長、平成13年5月から平成15年4月までの2年間は、議会広報特別委員会委員長の要職を務められました。広報委員長在任中には、まくべつ議会だよりの改革に鋭意取り組まれ、議会だよりの表紙のカラー印刷をはじめ、記事の内容も一新するとともに、一般質問を要約し、議員自らが原稿を書くなど積極的に議会活動を町民の皆様に周知するとともに、親しまれる紙面づくりに委員長として率先して取り組まれました。

その功績が認められ、平成15年、第23回北海道町村議会広報コンクールにおいて、同年2月に発行したまくべつ議会だより第125号が特選に選ばれましたことは、豊島委員長の努力の賜物であり、幕別町議会として大変名誉なことでありました。

豊島議員は、本会議の審議、また常任委員会での審査に積極的に発言され、町の施策に対して、真に住民の立場にたった意見を述べられておりました。

また、初当選された平成3年から今年の第3回定例会に至るまで、延べ62回、毎定例会ごとに欠かさず一般質問をされ、町政への提言、町民の要望、町民の声を代弁されたことは、真に住民を代表された町議会議員の姿勢をもったものと心より敬意を表するものです。

豊島議員の最後の一般質問は、教育基本法についてでありました。病の身を押し、登壇された姿は私をはじめ、議員各位に、また、理事者皆様の目に今も焼き付いることと思います。

豊島議員の質問は、時には鋭く、時にはこまやかな視点にたった内容で、その人柄が随所に発揮され、その言葉には優しさと信念が込められておりました。

私と豊島議員とは同期の当選であります。初当選以来、豊島議員とは、同じ常任委員会に所属することが何度かありました。お互いに主義・主張には譲れない面もあり、委員会の審査では意見のぶつかることもよくありました。しかし、豊島議員も私くしも、幕別町の発展と町民の福祉増進、住みよ

いまちづくりにかける思いは同じであったと確信しております。

社会構造が劇的に変化をする中、本町もより一層の行財政改革を進め、福祉施策や子育て支援策をさらに充実させなければなりません。議会議員としていよいよ円熟味をましてこられた豊島議員を今失ったことは、まことに残念であり、幕別町並びに幕別町議会の損失は計り知れないものがあります。

何事にも誠実で裏表のない人柄と人に対する優しさは、本日、傍聴席にお越しいただいた、ご主人、お子様、そして私達の心の中にこれからも生きていくことと思います。

最後に、私どもは多くの足跡を残された豊島善江議員のまちづくりに対する思い、町民の幸せを願う心を忘れず、すべての住民が住みよい、合併後の新生幕別町のまちづくりを議員の使命として、誠心誠意努力することを固くお誓い申し上げ、ここに謹んで豊島善江議員のご功績をたたえ、追悼の言葉といたします。

平成19年2月6日。

幕別町議会議員副議長 額額太郎。

○議長（本保証喜） これでも額額議員の発言は終わりました。

[行政報告]

○議長（本保証喜） 次に、理事者より発言を求められておりますので、これを許します。

岡田町長。

○町長（岡田和夫） 臨時会ではありますが、お許しをいただきましたので、合併以後、今日まで取り組んでまいりました、まちづくりについてのご報告をさせていただきます。

昨年2月6日に幕別町と忠類村が合併をし、新しい「幕別町」がスタートしてから、本日でちょうど1年を迎えました。この間、大きな混乱もなく、新町のまちづくりの歩みが、一歩ずつ着実に進められているものと考えているところであります。これもひとえに、議員各位をはじめ、住民の皆さんの深いご理解とご協力のたまものと、心から感謝とお礼を申し上げます。

本日から、新町としての2年目のまちづくりがスタートいたすわけではありますが、今一度、合併により目指した新町のまちづくりを確認し、新たな一歩を踏み出すことが大切なことであろうと考えているところであります。

ご承知のように、合併に至った背景には、地方分権や少子高齢化の進行など市町村を取り巻く社会経済情勢が大きく変化し、これまでの自治体の行財政基盤や行政組織では、将来にわたって住民の期待に答えていくことが大変難しいという状況がありました。

このため、行政組織や事務・事業を効率化し、経費の削減を図り、経済情勢の変化や住民のニーズに的確に対応していくため、行財政基盤の強化、行政能力の向上と行政サービスの維持、一体的・効果的なまちづくりの推進という三つの効果を「合併」により創出し、将来的にも持続的発展が可能なまちづくりを進めていこうとするものであります。

合併によるこれらの効果を検証すべく、この1年間を振り返ってみますと、1点目の行財政基盤の強化についてであります。18年度決算見込みベースでは、歳入面では、合併補助金が約8,900万円、地方交付税では合併により措置されたものが約2億4,900万円、また、基金積立や建設事業などに約5億3,000万円の合併特例債の充当を予定いたしているところであります。

歳出面では、常勤の特別職、各種執行機関・附属機関の委員、一般職の人員削減などにより、約9,300万円の人件費の削減、さらには、補助金及び負担金、物件費などでも約5,500万円の削減が見込まれているところであります。

これら、歳入、歳出を合わせてみますと、8億1,300万円の財政効果が見込まれるところであります。

次に、2点目の行政能力の向上と行政サービスの維持につきましては、総務、企画など管理部門の集約化、効率化のほか、消防の救急業務など専門的な人員の配置などに意を用いたところでありますが、今後更に組織・機構の見直しを検討し、政策立案能力の向上、行政サービスの維持、向上を図つ

てまいりたいと考えているところであります。

次に、3点目の一体的・効果的なまちづくりの推進についてであります。これまでも申し上げておりますが、「一体感の醸成」と「均衡ある発展の確保」は、合併後のまちづくりを進める上で、最も意を用いていかなければならないものと考えております。

一体感の醸成といった面では、経済、福祉、スポーツ、文化など各種団体などの合併、統合、連携も順調に進み、交流による相互理解が図られているとともに、活動内容の充実や新たな事業展開が期待されているところであります。

また、これまで両町村で制度上の差異があった事項につきましては、合併協議の中での協議結果に基づき、激変緩和措置を講じている事項もありますので、徐々にではありますが、統一を図っているところであります。

さらに、特に忠類地域においては、経済団体や地域住民会議をはじめ、多くの関係者の意向を踏まえながら、新「道の駅」や「物産センター」の整備に取り組み、均衡ある発展の確保に努めてきたところであります。

以上、合併満1周年を迎えて、この1年を振り返り、ご報告をさせていただきましたが、合併協議会において、「合併の方式は編入合併」、「新町の名称は幕別町」という提案をされた忠類村の皆さんの熱い思いを大事にし、今後も合併協議の中で培った両町村の信頼関係をさらに高め、お互いを思いやる温かい気持ちをもって、新町の将来像であります「人と大地が躍動し、みんなで築くふれあいの郷土」の実現を目指し、「合併してよかった」といわれるまちづくりを進めてまいりたいと考えております。

議員の皆様には、引き続きご支援、ご協力を賜り、新「幕別町」発展のため、お力添えをいただきますようお願いを申し上げ、行政報告とさせていただきます。

○議長（本保証喜） これで行政報告は終わりました。

[付託省略]

○議長（本保証喜） お諮りいたします。

日程第4、議案第1号は、会議規則第39条第2項の規定により、委員会付託を省略し、本会議で審議いたしたいと思っております。

これにご異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○議長（本保証喜） 異議なしと認めます。

したがって、日程第4、議案第1号は、委員会付託を省略することに決定いたしました。

[議案審議]

○議長（本保証喜） 日程第4、議案第1号、平成18年度幕別町一般会計補正予算（第4号）を議題といたします。

説明を求めます。

西尾助役。

○助役（西尾治） 議案第1号、平成18年度幕別町一般会計補正予算（第4号）につきまして、提案の理由をご説明申し上げます。

議案書1ページをお開きいただきたいと思います。

歳入歳出補正予算の補正、第1条でございますが、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ4,100万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ160億2,351万2,000円と定めるものでございます。

補正後の款項等の区分につきましては、2ページ、3ページでございます第1表歳入歳出予算補正を参照いただきたいと思います。

歳出からご説明申し上げます。5ページをお開きいただきたいと思います。

9款消防費、1項消防費、1目常備消防費、4,100万円の追加であります。

本追加につきましては、東十勝消防事務組合分担金であります。

このたびの国の補正予算といたしまして、合併市町村における補助金984億3,000万円につきまして計上されておりまして、本日可決される予定とお聞きをいたしております。

合併市町村が新しいまちづくりをスタートするに当たり、当面する事業について、前倒しで実施、早期に一体感のあるまちづくりにつなげていただくというような趣旨から、今回の補正予算になったものとお聞きをいたしております。

これにつきまして、本町におきましては、新町建設計画の主要施策と位置づけられております消防防災体制の整備事業であります小型動力ポンプ付水槽車を、国における補正予算に合わせまして、導入を行おうとするものであります。合併により、幕別消防署の管轄拡大に伴う災害時の機能性の確保及び防災体制の強化を図ることを目的に事業を実施するものであります。

なお、本事業につきましては、実施計画により、平成19年度の事業予定しておりましたものを、前倒しで実施するものであり、2月9日までに予算措置が必要ということから、本日臨時会にご提案をさせていただくものであります。

次に、歳入でございますが、4ページをご覧くださいと思います。

15款国庫支出金、2項国庫補助金、1目総務費補助金、4,100万円の追加であります。

今、ご説明申し上げました合併市町村の補助金が歳入であります。

以上で説明を終わります。

よろしくご審議のほど、お願い申し上げます。

○議長（本保証喜） 説明が終わりましたので、質疑を許します。

（なしの声あり）

○議長（本保証喜） 質疑なしと認めます。

お諮りいたします。

本案は原案のとおり決することに、ご異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○議長（本保証喜） 異議なしと認めます。

したがって、本案は原案のとおり可決されました。

[閉議・閉会宣告]

○議長（本保証喜） 以上をもって、本臨時会に付議されました議件は、全部終了いたしました。

会議を閉じます。

これをもって、平成19年第1回幕別町議会臨時会を閉会いたします。

10：28 閉会